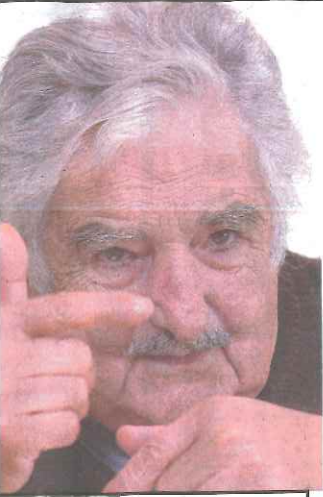


「前大統領 反戦訴え



「世界で一番貧しい大統領」として知られる南米ウルグアイのホセ・ムヒカ前大統領(左)が初来日した。ムヒカ氏は六日、東京都内で一部メディアの取材に応じ、日本政府が憲法解釈を変更し集団的自衛権を認める安保法制を制定したことについて「憲法の解釈を変えたのは、日本が先走って大きな過ちを犯している」と思つ」と批判した。

安保法「大きな過ち」

ムヒカ氏は先立つ記者会見でも「いまだに人類は先史時代を生きている。戦争を放棄する時が来たら、初めてそこから脱却できる」と指摘。「私たちには戦争を終わらせる義務がある。それは世界の若者が完成させなければならぬ大義で

あり、可能なことだ」と訴えた。ムヒカ氏は、世界で使われている膨大な軍事費について「軍備の拡張は世界的に大きな問題であり、経済的な観点から見ても非常に深刻なことだ」と憂慮。格差解消や地球温暖化対策な

どに使うべきだとの考えを示した。また五十四年ぶりに国交を回復した米国とキューバによる交渉の裏で、オバマ米大統領のメッセージをキューバのラウル・カストロ国家評議会議長に託したエピソードを明かし、「私た

ちは平和に導くような解決策を模索しなければならぬ」と和解の大切さを訴えた。



中日新聞東京本社
東京都千代田区内幸町二丁目1番4号
〒100-8505 電話 03(6910)2211



読者とともに
紙面へのご意見
お問い合わせは

●電話
03-6910-2201
土日祝日除く9:30~17:30
●FAX
03-3595-6935

東京新聞ホームページ
TOKYO Web
www.tokyo-np.co.jp
政治部など
本紙記者が
ツイッターで
つぶやいています
(一覧は5面に)

ご購入お申し込み
0120-026-999

幸せ追求 日本で絵本に

ムヒカ前大統領が「世界で一番貧しい大統領」と呼ばれるようになったきっかけは、大統領在任中

ムヒカ氏は居並ぶ各国首脳を前に、大量消費社会やグローバルズムを批判し、世界の注目を集め

はや一國で解決できる問題ではないが、世界全体での合意は存在しない。世界的な政治的決断が求め

戦争やテロ、貧困や格差、気候変動や環境汚染など世界が抱えるさまざまな問題に関して、説くように持論を語ったムヒカ氏。「も

来日